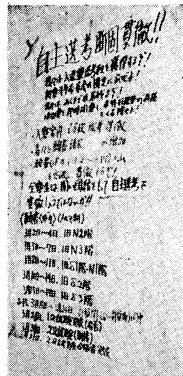


アラシの前の... 寮問題

不法入居者の館その後



自主退去願書 / 生田寮でのスナック

「自主退去願書」の提出が、生田寮の不法入居者問題に新たな展開をもたらしている。この問題の経緯は、本紙の過去記事で詳しく取り上げられているが、ここではその後の経過について報告する。

生田寮は、明治大学が所有する学生寮であるが、一部の部屋が不法入居者によって占拠されている。この問題が長らく続いた結果、自治会や学生有志が自主退去を促すための活動を開始した。その結果、一部の不法入居者が自主退去を表明し、寮の状況が徐々に正常化している。

しかし、依然として一部の部屋が占拠されており、寮の正常な運営が妨げられている。自治会としては、引き続き自主退去を促すとともに、必要に応じて法的措置も検討している。学生有志も、寮の改善のために様々な活動を行っている。

「警告文」すでに五回

静かな中にも続く運動

生田寮の不法入居者問題に関する自治会の警告文が、すでに五回にわたって送られている。自治会としては、不法入居者の自主退去を強く求め、寮の正常な運営を確保している。

警告文には、不法入居者の存在が寮の安全と衛生に与える影響が詳しく述べられている。また、自治会が法的措置を検討していることも警告されている。不法入居者側からは、警告文に対して様々な反応が返されているが、自主退去の動きはまだ限定的である。

自治会としては、今後も引き続き自主退去を促すとともに、必要に応じて法的措置も検討している。学生有志も、寮の改善のために様々な活動を行っている。

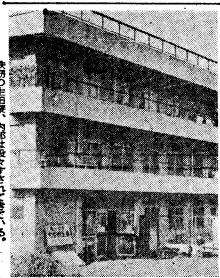
東工大の場合は一

東工大の不法入居者問題については、自治会が警告文を送っている。東工大側からは、不法入居者の自主退去を促している。また、自治会も自主退去を促している。この問題は、引き続き自治会と学生有志の活動によって解決を目指している。

東工大の不法入居者問題は、長らく続いている。自治会としては、引き続き自主退去を促すとともに、必要に応じて法的措置も検討している。学生有志も、寮の改善のために様々な活動を行っている。

東工大の不法入居者問題については、自治会が警告文を送っている。東工大側からは、不法入居者の自主退去を促している。また、自治会も自主退去を促している。この問題は、引き続き自治会と学生有志の活動によって解決を目指している。

東工大の不法入居者問題は、長らく続いている。自治会としては、引き続き自主退去を促すとともに、必要に応じて法的措置も検討している。学生有志も、寮の改善のために様々な活動を行っている。



生田寮の建物

生田寮の建物、自治会が中心となって、不法入居者の自主退去を促している。また、自治会も自主退去を促している。この問題は、引き続き自治会と学生有志の活動によって解決を目指している。

- ### 各学寮自治会 新役員を選出
- 各学寮自治会は、新役員を選出した。以下の通りである。
- 1) 東工大自治会: 会長 田中 健一、副会長 佐藤 隆夫
 - 2) 明治大学自治会: 会長 鈴木 一郎、副会長 高橋 五郎
 - 3) 慶応義塾自治会: 会長 山田 健二、副会長 渡辺 三郎
 - 4) 早稲田大学自治会: 会長 田村 健三、副会長 佐々木 四郎
 - 5) 中央大学自治会: 会長 山崎 健四、副会長 渡辺 五郎
 - 6) 法政大学自治会: 会長 田村 健五、副会長 佐々木 六郎
 - 7) 立教大学自治会: 会長 山崎 健六、副会長 渡辺 七郎
 - 8) 清泉女子大学自治会: 会長 田村 健七、副会長 佐々木 八郎
 - 9) 聖光学院自治会: 会長 山崎 健八、副会長 渡辺 九郎
 - 10) 聖心女子学院自治会: 会長 田村 健九、副会長 佐々木 十郎

各学寮自治会は、新役員を選出した。以下の通りである。

東工大自治会: 会長 田中 健一、副会長 佐藤 隆夫

明治大学自治会: 会長 鈴木 一郎、副会長 高橋 五郎

慶応義塾自治会: 会長 山田 健二、副会長 渡辺 三郎

早稲田大学自治会: 会長 田村 健三、副会長 佐々木 四郎

中央大学自治会: 会長 山崎 健四、副会長 渡辺 五郎

法政大学自治会: 会長 田村 健五、副会長 佐々木 六郎

立教大学自治会: 会長 山崎 健六、副会長 渡辺 七郎

清泉女子大学自治会: 会長 田村 健七、副会長 佐々木 八郎

聖光学院自治会: 会長 山崎 健八、副会長 渡辺 九郎

聖心女子学院自治会: 会長 田村 健九、副会長 佐々木 十郎